

今月の学習で、重要な文章の読解方法について一通り学習をすませたことになります。

今までに学習した内容は、しっかり身についているでしょうか。夏休みを利用して、今まで学習した内容をもう一度しっかり復習しておきましょう。

第 37、38 回では、物語を学習することで「部分の役割や効果に着目し、中心を類推する」「全体を俯瞰して役割や効果を見出す」ことを学習します。

また、語句単位となる「読む」「書く」ツールでは「敬語」「作者・作品と時代」を学習することで知識を深めていきます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。

◆第 37 回 物語 主題へつながる暗示・象徴／敬語Ⅱ

前回に引き続き、物語についての学習になります。今回は「暗示」「象徴」を示す表現に着目することで文章の内容をより深く読み取ることを目指します。文章にはっきり書いてある内容ではなく、表現から暗示される内容を読み取るため、出来事から読み取れる心情、表現の持つ意味やイメージなど、様々な手がかりを活用していくことを目指しましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは前回に引き続き「敬語」を学習します。敬語表現の出題は誤った表現を正しく直す形式のものが多くなります。敬語の使い方を意識しながらテキストの問題に取り組みましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～8

「読む」「書く」ツール・・・①～⑤

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・1～6

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十七回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～6 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・(再確認) ⑥～⑨

◆第 38 回 物語 文章の展開や表現の特徴／作者・作品と時代

前回に引き続き、物語の学習になります。今回は「文章の書かれ方」すなわち主人公の視点や感じ方、文の書き方や場面展開の仕方など、文章を構成している様々な情報に注目して見ることに取り組みます。

主観的な理解を要求する分野でもありますので、自分の感じたことだけに固執せず、設問で示された選択肢に柔軟に対応するなど、問題に取り組む姿勢にも注意が必要です。

また、「読む」「書く」ツールでは「作者・作品と時代」について学習します。文学史の単元になりますが、古典の名作から、近現代の名作まで様々な作品が取り上げられています。まずは一つ一つ問題に取り組みながら知識を増やしていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・表の1～16

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三十八回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

「読む」「書く」ツール・・・(再確認) ⁶～¹⁰

(ご購入されている方のみの案内です)

「語句のまとめ」の教材について、こちらは宿題用の副教材として運用しています。

本科テキストと連動しない形で、語句の問題に取り組むことで幅広い知識の習得を目的として、前期第19回の宿題として「語句のまとめ」第1回、前期第20回の宿題として「語句のまとめ」第2回・・・、という形で取り組む形を想定しています。

今回、7月度につきましては第37回＝第19回、第38回＝第20回の前半2ページ「入試に向けて知識を定着させよう！」の部分をまずは取り組みましょう。

後半2ページ「知識をさらに深めよう！」の部分は応用問題の位置づけです。時間に余裕がある場合、その単元が苦手である場合、第一志望校で頻出の単元である場合などは取り組んでみてもよいと思います。

※特別回①・②は、夏休み中など、時間のある時に取り組んでみるのがよいでしょう。

6年生の前期もいよいよ終了です。基本的な学びはここまでになり、夏期講習からは問題を解くことを中心に学習をすすめていく時期になります。7月は「速さ」の応用と「立体図形」を学びます。

「立体図形」は入試において「空間把握能力」を問いたいという思いが中学校側にはありますので、よく出題されます。しっかりと取り組みましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第37回 立体図形 ～立体図形①～

1つめのテーマとしては、体積・表面積の求積です。見取図・投影図・展開図などから、どのような立体かを確認してから求めていきましょう。さらに、回転体加わります。回転体に取り組むときには、立体のおよその様子を描いてから取り組んでいきましょう。

2つめのテーマとしては、「切断」です。切断の原則をおさえることが大切です。切断はどんどんと取り組むことによって、感覚が養われていきます。おそれずにがんばってください。

さらに、「比」を用いることで、計算がまとめられます。また「比」がでてきましたね。それほど「比」は大切ということです。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③、知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ③, ④, ⑥

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ⑨

◆第38回 立体図形 ～立体図形②～

今回の立体図形では、「水」が主人公をつとめます。「水」は容器によって形を変えていきます。容器を移しかえたり、棒を入れたり、など状況が変わりますが、真正面から見た平面図を描くことによって、すっきりとしていきます。また、水そうグラフでは、図形の情報とグラフの情報を1つの平面図にまとめることで、理解が深まります。情報の一元化というのは、難しい視点ですが、しっかりと取り組んでください。そして、今回も「比」を利用することで、計算が簡略化されます。「比の利用」をこころがけましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②③、知識技術①～⑧

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～10

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法3, 4, 5, 6

栄冠への道・・・学び直し③1, 2, 3

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第37回 立体図形 体積・表面積と比

今回は、立体図形に関する問題を学習します。回転体の問題・立体の切断の問題・展開図を利用する問題など、幅広いパターンの問題をこの回でまとめて扱います。それぞれの問題について、必要な図を自分で作図しながら取り組んでください。

なお、**12**～**19**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

◆第38回 立体図形 水位変化と比

今回は、立体図形の中でも水そうに関する問題を学習します。問題を解くときには簡略化した水そうの図を描き、そこに底面積や深さを書きこんでいくようにしましょう。一定の割合で水を入れ、水量と深さの変化を考える問題では、与えられたグラフと水そうの図を対応させながら解き進めましょう。また、水そうにおもりを入れる問題では、体積が等しい部分に注目して、底面積と深さの逆比の関係を利用しましょう。

なお、**14**、**17**～**21**は発展問題の中でも特に難度の高い問題になっています。できる範囲で取り組んでください。

やっと梅雨が明けて、日差しの強い季節がやって来ました。空調のきいた室内と屋外の温度差で体調をくずすことのないよう、長袖のシャツなどを持っておいてもいいかもしれませんね。

7月の理科では「かっ車と輪軸・力の組み合わせ」「浮力・物体の運動」について学びます。7月も計算で答えを出す問題を多く練習します。どのような規則性があるのか、正しくつかみ取ることが大切です。

◆第37回 力とつり合い②

かっ車や輪軸という道具の仕組みや、使ったときにどんなことが起こるのか、また、それらを組み合わせたとき、それぞれの部分にどのように力がかかるのかを考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・輪軸や定かっ車・動かっ車の仕組みを理解し、つり合っているときに働く力や、おもりを引き上げるとき、ひもを引く長さがどのように変化するのか、正しく理解しよう。
- ・かっ車を組み合わせたときに、かかる力の大きさや、ひもを引く長さの変化を「仕事」の原理をふまえて考えてみよう。
- ・かっ車、輪軸、ばね、てこなどを組み合わせてある場合に、いくつかの小さな部分に分けてつり合いを見つけよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し① ①～④ 学び直し③ ①、③

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し① ⑤ 学び直し③ ②、④

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し② 学び直し③⑤

◆第38回 力と運動

水にういている物体に働く力について、浮力や重力などの働き方を理解しよう。

ふり子の運動や、物体を高い所から落としたときの速さの変化、また、ボールなどが坂を転がっていくときの速さについても、どのような規則性があるのか、しっかりと考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・物体を水に入れたとき、水につかった体積と浮力の働き方の間にある関係を理解しよう。
- ・水にういている物体としずんでいる物体での力の働き方の違いを理解しよう。
- ・ふり子の周期は何と関係しているのか、図や表から考えてみよう。
- ・ふり子が動くとき、速さがどのように変化するのか調べてみよう。
- ・物体を落としたときに、速さが増える規則について考えてみよう。
- ・斜面を転がる物体の速さの変化や、他の物体にぶつかった時のようすについて、どのような規

則があるのかを考えてみよう。

「栄冠への道」必ず解いてみよう

・「本科教室」…オプション探求

・「栄冠への道」…学び直し① 1～4 学び直し③ 1、5

③「栄冠への道」さらに深く学ぼう：学び直し③ 2～4

④「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し② 学び直し③ 6

◆第37回 財政と地方自治

国の予算（国がお金を得る手段とお金を使う用途）と地方自治（地方公共団体）について学習します。

- ①「本科教室」ここだけはおさえておこう
 - ・予算が成立する過程を確認しよう。
 - ・歳入と歳出のうちわけをしっかりと覚えよう。
 - ・税の種類を確認しよう。
 - ・地方自治のしくみ（地方公共団体のはたらき）について確認しよう。
- ②「日本国憲法」ここだけは参照しておこう。
 - ・第60条
- ③「本科教室」解いてみよう
 - ・オプション探求、シナジー
- ④「栄冠への道」
 - ・「思い起こし②」を読もう。
 - ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう。

◆第38回 国際の平和をめざして

今回は、国際情勢の現状を把握しながら、国際紛争などの諸問題の解決にあたっている国際連合のしくみを学習します。

- ①「本科教室」ここだけはおさえておこう
 - ・国際連盟のしくみを確認しよう。
 - ・国際連合のしくみを確認しよう。
 - ・国際連合の活動をおさえよう。
 - ・第二次世界大戦後の世界の様子を確認しよう。
- ②「日本国憲法」ここだけは参照しておこう。
 - ・P105～112
- ③「本科教室」解いてみよう
 - ・オプション探求、シナジー
- ④「栄冠への道」
 - ・「思い起こし②」を読もう。
 - ・「学び直し①」「学び直し③」を解いてみよう。